

地方創生事業好事例紹介

じゃぱにうむ

じゃぱにうむレビュー 第17回

デジタル技術を駆使して人と地域を情報でつなぐ オウンドメディア・エキスパート

東洋株式会社

東洋株式会社

所在地：北海道帯広市西10条南9丁目7番地

代表者：代表取締役社長 角 高紀

従業員数：159名*（2024年4月現在）

*取締役4名・パート18名除く

URL：<https://www.toyo-grp.co.jp/>

人と地域をデジタル技術でつなぐ印刷会社が北海道帯広市に存在する。それが東洋株式会社だ。同社は「情報をカタチにする仕事」を通じて顧客から信頼を得ている。数々の地域向けオウンドメディアの開発・運営などデジタル技術を活用した新規事業を立ち上げてきた。価値のある情報の配信と地域活性化に資するBtoCサービスを提供する同社の取り組みをひとつずつ見ていこう。

印刷会社のオウンドメディアが コミュニティを活性化

まず、東洋株式会社が運営する地域限定型コミュニティサイト「TON×TON（とんとん）」を覗いてみる。「十勝・帯広」「釧路・根室」「旭川・上川」「札幌」の4地域ごとに設けられたサイト内の「たべる」「きれい」「くらし」「あそぶ」「けんこう」「たび」といったジャンルの様々な情報のほかに、近所のスーパーの折込みチラシや求人情報など、地域住民には欠かせない情報が充実している。このサイトには、お気に入りのスポットやみんなに教えたい情報に「いいね！」をつける「プッシュ！」ボタンや、掲載されている情報に自分から「クチコミ」する機能に加えて、「クーポンをゲット」する機能も備え

られている。充実した地域情報が地域の中で人を動かし、にぎわいをつくり出す双方向コミュニティサイトとなっている。「TON×TON」サイトのベースは、毎月



推しまち！自治体プロモーション

1日に発行され、帯広市のほか、周辺3町に11万部配布・設置されている「TON×TONフリーペーパー」だ。紙のチラシのPDFは「TON×TON」サイト内にも表示されているため、印刷物でもWebサイトでも閲覧が可能だ。

また、「TON×TON」サイトには、地域住民だけでなく、地域外に向けても町の魅力を発信する「推しまち！自治体プロモーション」というコンテンツも用意されている。これは、東洋が十勝、釧路エリア内の19の町村と締結した地方創生の推進に関する包括連携協定によるもので、自治体の



地域限定コミュニティサイト「TON×TON（とんとん）」



ホームページと連動している。地域住民にとって「知らなかった」情報を無くすこと、また、街や観光地といった地域の価値や魅力などを広く発信し、移住・定住・交流・流入人口の増大を図り、地域経済の活性化に資するコンテンツとなっている。

社員とバイヤーが厳選した商品を生活者に

次に、北海道の“レア”な魅力が詰まった商品を産地直送で届ける EC サイト「食ベレア北海道」の運営を見てみよう。なんと、東洋の社員が「食ベレア・バイヤー」として食品を厳選し、生産者の想いと共に紹介し



地産品 EC サイト「食ベレア北海道」

販売しているのだ。北海道内の農家、漁師、酪農家などが生産する食材や加工品を発掘し、全国へ発信することで、北海道の魅力を引き出すブランディング機能の役割を果たしている。同ホームページには食品の取り扱いポリシーとして、①北海道で製造されている商品のみを取り扱う。②商品は全て生産者が責任を持って販売する。③趣味での生産・製造ではなく、事業として活動している生産者のみが登録可能としている。通常の EC サイトの運営では、フロント、バックエンドとともに多岐に亘る業務が必要で、特に商品企画、仕入れ、生産は大きなリスクを伴うが、このサイトは取り扱いポリシーに記載されている通り、運営リスクを軽減した効率的なビジネスモデルと言える。同社の経営戦略が垣間見えるところだ。

このサイトに掲載されている商品は、商品の産地、希少性、栽培法・製造法、生産者など、「食ベレア・バ

イヤー」の目利きによる魅力のある商品セレクトションであることが理解できる。Instagram で毎日更新される商品情報のほか、YouTube による地域の魅力を伝えるプロモーション動画、レシピ動画といったコンテンツが充実している。「私たちは、自分目線からお客様目線、生活者目線と見方を変え、お客様と同じ立場で顧客価値を最大にするお手伝いをしてまいります。」と自社の強みを強調している通り、従来得意先に提供してきたノウハウを結集した Web サイトである。また、帯広商工会議所が地元企業と帯広農業高校との橋渡しをし、地元産品と同校の生徒が作った商品をセットにして「食ベレア」サイト上で販売するという取り組み事例がある。これは地元人材の育成という観点からも地域活性化に貢献する新しい取り組みと言えよう。

ハローワークとも連動した求人マッチングサイト

最後は、求める人材と多様化する求職者の要望を集めて掲載する求人マッチングサイト「トントンジョブ」だ。これは、求人掲載費が無料、つまり、採用が決まるまで費用がかからない「採用成果報酬型求人サイト」である。職務経歴や転職希望条件などを登録しておくと、興味を持った求人企業や転職エージェントから直接オファーが届くスカウトサービスもあり、ハローワーク求人の転載もあるという充実した求人サイトで、地域の雇用創出にも貢献している。

デジタル技術を駆使して人と地域を情報でつなぐ東洋の取り組みに今後も注目していきたい。



地域求人サイト「TON × TON JOB」